

江戸の名工・ 原舟月のお雛様

佐野美術館のおひなさま
2016.1.30[土]—3.6[日]



《古今雛》伝原舟月作 江戸時代

恒

例の雛祭りの展示から、昨年新収蔵品となつた古今雛をご紹

介します。

この古今雛は、江戸の名工と謳われた原舟月の作と伝えられています。初代舟月は、安永年間(18世紀後半)ころ江戸で流行った雛—古今雛の名手として名を馳せました。しかし、初代の実際の作品は未だ発見されておらず、古今雛の形を完成させたのは、弟子の二代舟月と言われています。ところで、この雛はどちらの作なのでしょうか?

雛の目は、古くは描き目といつて筆で描いたものでした。江戸時代中ころに流行した次郎左衛門雛や享保雛などもみな描き目です。これを、今日私たちが目にするような「玉眼」にしたのが、二代舟月

といわれています。玉眼は目の孔にガラスを嵌めたもので、よりリアルな人形の表情を演出するとして評判になりました。

ところが、今回の雛の目は描き目なのです。これは初代の作風を踏襲していた二代の最も初期の作品か、もしかすると初代の作かもしれない。女雛が立膝をしていることや、衣裳の袖が手の先まですっぽり覆う形をしていることなど、一風変わった趣のある古今雛。今後の調査研究の行方を楽しみにお待ちください。

今回の展示では、この他に昨年お披露目をした仁杉家旧蔵の雛道具や、大正時代の豪華な御殿飾り、清楚な中に気品をもつ享保雛など、佐野美術館所蔵・寄託の雛人形が勢揃いします。

(副館長・学芸グループ長 坪井則子)

頭をやわらか～くして ご覧ください —自由でシュールな長新太の世界



没後10年
長新太の脳内地図展
2016.3.12[土]—4.17[日]

長新太
『プラテー口とわたし』(理論社)より
『だっこだっこねえだっこ』(ボーラ社)より
1965年
2005年

漫

画家にしてイラストレーター、エッセイストでもある絵本作家長新太(1927~2005)。摩訶不思議なその「脳内地図」に入り込んでみると…?

※長新太の言葉の引用はすべて本展図録より

巨大な…

現実には大きくなつたものがすごく大きくなつて出てきたりするような、シュールレアリズム+ナンセンスのものがかきたいのね。

—季刊『アルマジロ』4・I991年

『キャベツくんのちようび』(1992年)。おなかをすかせたブタヤマさんがキャベツくんを食べようすると、「いらっしゃい いらっしゃい おいしいものがありますよー」と、草むらの向こうに巨大な3匹のまねき猫がドーンと現れます。巨大化したモノが突然現れる驚き

と可笑しさに、頭の中がカユクなつてしまします。

漫画 —線の表現

長新太は1949年に漫画家としてデビューしました。その独特的な描線は、『プラテー口とわたし』(1965年)のような抒情的な



世界も、「下半身の外出」(1981年頃)のような人を食つたような話も表現しました。融通無碍で表情豊かな長新太の線の世界が堪能できます。

をせがむ」という行為の普遍性が、ナンセンスを飛び越えて読み手の心に響いてきます。

ちへいせんのみえるところ

僕は、すごい広いところが好きなの。地平線が見えたり、水平線があつたりね。だから、なるべくそういうことで心が解放される、描いててもね。

—『絵本ジャーナル PeeBoo』29・I998年



長新太『ちへいせんのみえるところ』(エイプリルミュージック)より 1978年

ナンセンス

普遍性っていうのは根本的に非常に大事にします。ナンセンスだからといって、ひとりよがりじゃいけないんですね。

—『別冊太陽 絵本の作家たち』2002年

長新太『キャベツくんのちようび』(文研出版)より 1992年



『だっこだっこねえだっこ』(2005年)は、人間や動物だけでなく、洋服、靴、アイスクリーム、いろいろなもの抱っこが出てきます。「お母さんに抱っこ

『ちへいせんのみえるところ』(1978年)。広い広い空と平原の間に、どこまでもまっすぐ続く地平線。突然平原の真ん中に男の子の頭がひょっこり現れる—「でした。」

一筋縄ではいかない長新太の脳内に広がる無限の空間。そこで「長新太」とは何だったか、見つけることができるでしょうか?

(副館長・学芸グループ長 坪井則子)

ミュージアムショップ

可愛いものから上品なものまで! 和小物・和文具大特集

ケイ

- 金封 各864円(税込)
金封として使用後は手ぬぐいとしてお使いいただける商品です。

福井朝日堂

- ほっこり庵のひとことレター 378円(税込)
- 祝儀袋(3枚入) 各486円(税込)
- ぼち袋(3枚入) 各324円(税込)

plusOrange

- 印傳のような紙のブックカバー 540円(税込)
特殊印刷加工を施した、紙のブックカバー。手触りも見た目もまるで印傳!

古川紙工

- 祝儀袋 540円(税込)
- 猫のぼち袋(3枚入) 各302円(税込)
- そえぶみ箋 ふじやま 324円(税込)

榛原

- 木版摺色ふちレターセット 1,296円(税込)
- 榛原 WASHI TAPE 各432円(税込)
- 榛原復刻图案 ぼち袋(3枚入) 各540円(税込)

プレゼントコーナー

※抽選で4名様に[△]マークの品を差し上げます(色・デザインは当方で選びます)。「プレゼントコーナー応募」、ご住所、お名前、電話番号、隆泉の感想と隆泉に掲載したい一言コメントを明記の上、佐野美術館「隆泉」係まで郵便かFaxでお送りください。一言コメントのテーマは「今年こそやり遂げたいこと」です。しみきり: 2016年2月15日(消印有効)

- 当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。
- いただいた個人情報はプレゼントの発送以外に使用いたしません。

長新太「下半身の外出」
『長新太怪人通信』(大和書房)より 1981年頃

